

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2002-174221(P2002-174221A)  
 【公開日】平成14年6月21日(2002.6.21)  
 【出願番号】特願2000-372733(P2000-372733)  
 【国際特許分類第7版】

F 1 6 B 35/04

F 1 6 B 43/00

【F I】

F 1 6 B 35/04 Z

F 1 6 B 43/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月28日(2004.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

螺子を被締付部品に仮保持するための仮保持部材が螺子軸部に設けられている螺子であって、前記仮保持部材は、螺子軸部の外周に形成された成形品で、螺子軸部の雄ねじ部に対応する雌ねじ部を有する短筒部の外周に弾性翼片が放射状に張設されたものであることを特徴とする螺子。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するためになされた本発明の螺子は、螺子を被締付部品に仮保持するための仮保持部材が螺子軸部に設けられている螺子であって、前記仮保持部材は、螺子軸部の外周に形成された成形品で、螺子軸部の雄ねじ部に対応する雌ねじ部を有する短筒部の外周に弾性翼片が放射状に張設されたものであることを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の螺子は、弾性翼片が短筒部の外周に放射状に張設された仮保持部材が螺子軸部の外周にインサート成形などにより設けられていることにより、螺子を被締付部品の螺子挿通孔に差し込んだ時に螺子が被締付部品から脱落することがない。また、仮保持部材を螺子軸部の中間でできるかぎり下寄りに設けることにより逃がし穴の長さを大幅に短くすることができ、カバーなどの取付部材の薄肉軽量化を図ることができる。また、本発明の螺子により被締付部品を取付部材に一体に締結した時には、仮保持部材が押し潰されて変形し仮保持部材を形成しているプラスチックが螺子軸部と被締付部品および取付部材との

間の空隙を充填したり、プラスチックの一部が雄ねじと雌ねじの界面に噛み込まれたりするので、従来よりもシールを完全なものとして被締付部品を締結することができる。